

東急バス×東京都市大学
バス営業所を活用した地域活性化事業の実証実験
多世代が集まるバスの営業所 -大学生が運営する地域交流会-

東急バス株式会社
東京都市大学

東急バス株式会社(以下、東急バス 社長:古川 卓)と東京都市大学(学長:三木 千壽)は、11月10日~12月11日、東急バス虹が丘営業所(川崎市麻生区)において、同大都市生活学部ユニバーサルデザイン研究室(担当教員:西山敏樹)の運営による実証実験を実施します。

両者は、東急グループに属するバス事業者、大学として、各々の事業や知見を活かし、地域の活性化に向けた産学連携による取り組みを行っています。

この度の実証実験は、地域交通の拠点である路線バスの営業所にある「空きスペース」を地域の活性化に向けた住民交流のスペースとして開放し、この運営を大学生が担うことにより、若年から老年までの多世代が集う賑わいを演出するもので、これにより、バス営業所の空きスペースの新たな活用法を確立するとともに、地域活性化を通じて移動需要を喚起し、バス事業者の経営の一助とするものです。(詳細別紙参照)

当日は、趣味交流をテーマとした各種体験会のほか、同大都市生活学部の教員と学生による学びをテーマにした講義などを実施するとともに、終了後には、参加者による各種体験会の評価調査を実施し、得られたデータは交通経営、マーケティングの観点から、同ユニバーサルデザイン研究室が分析する予定です。

※ 西山敏樹:東京都市大学 准教授 博士(政策・メディア) ユニバーサルデザイン研究室
大学院環境情報学研究科都市生活学専攻(博士後期課程・博士前期課程)/都市生活学部
2015年に東京都市大学に着任。総合研究所未来都市研究機構ヒューマン・センタード・デザイン研究ユニット長等を歴任。大学や公的なシンクタンクの双方でユニバーサルデザインとエコデザイン(環境低負荷デザイン)の融合方策を実践的に研究・提案。路線バスの活性化方策に明るい、数少ない研究者として有名。最近、買い物難民救済を目指して鉄道車輛を走るスーパーに仕立てた「買い物列車」の実証実験で受賞多数。ユニバーサルデザインを専門とする関係で人々のニーズを吸い上げる社会調査の各種手法にも精通。都市生活学部都市生活学科で、ユニバーサルデザイン、Urban Mobility、マーケティングリサーチ演習などの科目を担当。

【実証実験概要】

1. 場所 東急バス株式会社虹が丘営業所 神奈川県川崎市麻生区王禅寺 963

2. 期間 2022年11月10日から12月11日まで(予定)

3. 体験・講義内容(一例)

体験・講義名称	体験・講義テーマ
アロマストーン作り体験会	-香りある暮らしを気軽に実現しよう-
編み物体験会	-かぎ針編みでオリジナルパスケースを制作しよう-
写真撮影講習会	-虹が丘営業所のバスを題材に写真撮影方法を学ぼう-
合唱体験会	-日本の童謡を通して世代を超えた交流を図ろう-
鉄道研究部 模型展示会	-親子で楽しもう！みんなが大好きな鉄道模型が大集合-
大人の学び舎	-イノベーション思考法を学ぼう-
出張講義	-バリアフリーについて学ぼう- -SDGsについて知ろう- -バスを使いやすくするためのお話会

4. 参加方法

別途予約フォームより、お申込みください。(下記 QR コード参照)

こちらの予約フォームについては、たまプラーザ駅周辺および虹が丘営業所周辺で配布予定のチラシ・ポスター、および東急バス、東京都市大学それぞれが展開する各種ホームページ・SNS 等にてご案内する予定です。

【実証実験に関するお問い合わせ先】

東京都市大学都市生活学部ユニバーサルデザイン研究室
担当教員:西山 敏樹 (E-mail:nishibus@tcu.ac.jp)

ご予約は
こちら



【報道機関お問い合わせ先】

東急バス株式会社
経営統括室 企画部(広報担当) TEL:03-6412-0109
までお願いいたします。

【参考】この資料は次の記者クラブにお届けしております。

- 国土交通記者会
- 国土交通省交通運輸記者会
- 横浜経済記者クラブ
- 横浜市政記者室
- 川崎記者クラブ

以上